

<h1>議事録</h1>	作成日		平成 29 年 2 月 17 日 (金)		作成者		下坂
	部長	所長	課長	参与	係長	係	
会議名	第 1 回宝塚市新ごみ処理施設整備基本計画策定委員会 (庁内委員会)						
開催日時	平成 29 年 2 月 10 日 (金)		14:00~16:15		開催場所	本庁 特別会議室	
参加者	井上副市長・上江洲理事・荒谷技監・福永企画経営部長・赤井行財政改革担当部長・中西市民交流部長・尾崎都市安全部長・坂井都市整備部長・影山環境部長・和田教育委員会管理部長						
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 新ごみ処理施設整備基本計画原案について 2 事業スケジュールについて 3 現行ごみ処理施設建設に係る経緯について 4 策定委員会のスケジュールについて 						

内 容	
1	<p>開会あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本会議は、先般の都市経営会議にて承認されたものである。本来であれば 3 月に予定されている検討委員会からの基本計画原案の答申に基づき検討を行うものであるが、平成 36 年に新ごみ処理施設の稼動を開始することを目標としており、逆算すると時間が無いことから先行して開始し、事前に共通認識を持つことを図るものである。 基本計画原案で定められた計画条件、処理方式、施設規模、及び環境保全基準などの確認を行い、次に整備用地については定められた選定方法と選定条件の基で市内全域から 1 候補地に絞り、事業方式については 4 つの選択肢から 1 方式を選択し、基本計画案の策定を行う。その後、その内容を都市経営会議に諮り、最終的に基本計画として策定する。
2	<p>議題</p> <p>(1) 新ごみ処理施設整備基本計画原案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画原案に基づき、事務局から内容説明。 <p>(2) 事業スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 36 年中に稼動開始を目標としているということであり、そこを目標とすれば平成 29 年度上旬には整備用地や事業方式を決定する必要がある。 ・ どの事業方式を選択しても事業スケジュールにはほとんど影響しない。 ・ 今まで設計・工事・運営の一括発注という経験がないが、この手続きによって多少期間を要しても施設基本設計や施設整備事業者選定等を進めながら平行して調整が可能。 <p>(3) 現行ごみ処理施設建設に係る経緯について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局から経緯を説明。 ・ 「次期クリーンセンターは北部とする」を「白紙に戻す」という平成 22 年 1 月 21 日付の回答について周辺協議会が納得・同意したという認識はない。ただし、市としては、受け取ってもらっているという認識である。

内 容

(4) 策定委員会のスケジュールについて

- ・ 策定委員会のスケジュールに基づき、次回日程を決定した。